

受験番号	氏名

令和 8 年度

貞静学園中学校

入学試験問題（国語）

試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開かず、下記の注意事項をよく読むこと。

注 意 事 項

1. 問題用紙は 12 ページです。解答用紙は別紙（1 枚）になっています。
2. 試験開始の合図で、問題用紙と解答用紙に、受験番号・氏名を正しく記入すること。
3. 試験開始後、「問題用紙のページ数と解答用紙」を確認し、足りない場合は静かに手を挙げ、試験監督者に申し出ること。
4. 解答には、必ず鉛筆、またはシャープペンシルを使用し、解答用紙の記入箇所をまちがえないように答えを記入すること。
5. 必要があれば、ラインマーカーまたはボールペンを使用してもよい。
6. 試験終了の合図で、試験監督者の指示に従って解答用紙と問題用紙を提出すること。

一

次の傍線部のカタカナは漢字に直し、漢字の読み方をひらがなで答えなさい。

- ① 作品をテンジする。
- ② 正しいシセイで座る。
- ③ 体調がカイフクする。
- ④ 人口のゲンシヨウが続く。
- ⑤ こわれたキカイを修理する。
- ⑥ 勉強に時間を費やす。
- ⑦ ひまわりの種が発芽する。
- ⑧ 母を率先して手伝う。
- ⑨ コップに水を注ぐ。
- ⑩ 災い転じて福となす。

二

次の四字熟語の読みをひらがなで書き、意味を後から選び記号で答えなさい。

① 言語道断

② 一期一会

③ 馬耳東風

④ 異口同音

⑤ 四苦八苦

《意味》

ア 一生に一度の出会いを大切にすること。

イ 多数の人がそろって同じ意見を言うこと。

ウ 人の言葉を心にとめず、聞き流すこと。

エ 非常に苦労すること。大変な苦しみ。

オ 言葉で言い表せないほどひどいこと。

三 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

アンパンマンは少し優等生なんです。

あ

、読む人はどうしても暴れ回っている方に感情移入するというか、好きになつてしまう部分が出てきます。いろいろな物語でも、悪人の方がかつこいい、素敵だとウケることがありますね。古典でいえば『宝島』の中に片目の海賊かいぞくが出てくる。悪いやつだけど、主人公より人気があります。

もちろん、アンパンマンのファンは多いですよ。モテるタイプかモテないタイプか、たとえば一般的にモテます。特に小さい子どもはアンパンマンのことが非常に好きです。

(中 略)

最近、アンパンマンが少ししか出てこないで他のキャラクターばかりが活躍かつやくする話もあります。

い

、アンパンマンがないと他のキャラクターが引き立たない。みなさんがばいきんまんが好きとか、メロンパンナが好き、ドキンちゃんが好きとかいろいろ言うのは、アンパンマンと対比して好きということなのです。

アンパンマンは太陽みたいな存在だね。みんなあまり気がついてないけど、アンパンマンに対比して他のキャラクターを好きになつていのです。これはばくも話を書き始めてから気がついたことだけど、アンパンマンはやっぱ主役で中心なのです。アンパンマンの光を受けて他のキャラクターはみんな生きている。一番光を受けているのはばいきんまんですが、他のキャラクターもみんな受けています。

その点で①アンパンマンは非常に重要です。面白いキャラクターはたくさん出てくるんですけど、その時アンパンマンがいないとあまり面白くないのです。

ばいきんまんは悪役だけれど、ある面では愛嬌あいきょうがあるんです。よく変身して登場しますが、みなさんがご覧になると、一見してばいきんまんが変身していると分かるような変身の仕方なんだよね。

う

ジャムおじさんに変身すると、一目でばいきんまんが変身していると分かるのに、みんなが「あ、ジャムおじさん」と騙だまされてしまう。なんで分からないのか、作者のぼくが何回見ても不思議なくらいです。

アンパンマン側の人は人が良いですね。そういうところが物語としての一種の面白さでもあるけれど、これは実は、現実の世界でも同じことがあるのです。

現実の世界のばいきんは、生活の中にたくさんいます。ばいきんのせいで病気になることだってよくあります。誰だって病気にはなりたくないから、はじめから病気になると分かっているような、ばいきんがたくさんあるところへは誰も行きません。

でも、②ばいきんは、一目見てすぐには分からない。「しまった、あの時にうつかり」と思うような時に病気になります。

ばいきんまんを登場させた時にそこまでの意味を考えていたのではないですが、現実もそうだということなのです。

悪についてもうちよつと考えてみましょうか。悪いものは、いかにも悪い感じで現れるとは限りません。我々の社会は、なんであんなことで騙されるのだろうというだけで簡単に騙されるものなのです。

偽の子どもになりすまして電話をして、その親からお金を騙しとる事件があつたでしょう。自分は絶対にあんなものでは騙されないと思つていても、あつさり騙されてしまう。自分がその場に立つと理性を失つてしまうのですね。悪を見破るのは簡単なことではありません。

騙すという行為は確かに良くないけれど、騙される側にも信じやすいとか、人が良すぎるとか、ややまずいところがある。だから詐欺罪は罪としては強盗傷害や殺人に比べると意外と軽いのです。だからあつていいかというところ、あつては良くないんだけど。全員まっ正直というわけにもいかないというのが、この世の中なんだよね。

(中 略)

アンパンマンはスーパーマンです。ヒーローだから、いつも悪に向かって戦わなくちゃならない。だけれどアンパンマンには弱点がたくさんあります。もともと食べ物だから汚いものが苦手で「かびるんるん」には弱いですし、顔が雪や水に少しぬれてもすぐに「力が出ない」と情けなくダウンしてしまいます。史上最弱のスーパーマンかもしれないね。得意技のアンパンチだって、敵のばいきんまんを殺すことはありません。ばいきんまんは死ぬのではなくて、自分の家に帰ってしまうだけですね。アンパンマンは、ばいきんまんが死なないように殴っている。アンパンチは、相手をボカボカに殴るのも悪いので一発でポカーンとやってしまおう、アンパンだからアンパンチと簡単に作っちゃった技です。

ばいきんまんだってやたらにふんづけたり「最後だ、とどめだ!」とかやっているけど、アンパンマンが死ぬことはない。あれ

もわざと外してやってるんじゃないかと思えます。本当にあんなのでゴンとやれば死んでしまいます。でもアンパンマンはへこむ程度で終わるんだよね。本当にはやられないように手加減しているのじゃないかな。そういうことで、アンパンマンとばいきんまんなは戦ってはいるけれど、ある部分は仲良しがじゃれ合っているところもある。ばいきんまんは、やられても次の週になると平気な顔で出てきます。

現実の世界でもばい菌にやられると病気になってしまいますので、③排除はいじよはしなくちゃいけないのだけど、相手を殺してしまう必要はないということなんだよね。

これはどういうことかという、人間の最大の敵はばい菌なんです。みなさんのおなかの中、口の中にはばい菌がたくさんいる。例えばインフルエンザにかからないように予防注射をしますね。抗生物質かうせいが発見されると、インフルエンザは治るようになります。でも抗生物質を使うと、今度は[※]抗体かうたいを持った新型のばい菌が出てきて、それまでの薬がきかなくなってしまう。そうするとこちらはまた④対抗する薬を作っていく。それに対抗して新型菌が出てくる。新型には今までの注射はきかなくて……と、この戦いは永遠に続いていくのです。アンパンマン対ばいきんまんの戦いと同じです。

それから、酵母菌こうぼのようにパンを作るのに必要な菌もあるし、納豆菌、乳酸菌、有用善玉菌もたくさんある。ばい菌はいろいろです。

残念ながらそれが健康な社会なんです。ばい菌が絶滅ぜつめつすると、人間も絶滅する。絶えず両方が[※]拮抗きっこうして戦っているというのが健康なんです。何人かは負けて死んでいくけれど、それも仕方がないんだよね、たとえ人間が善人ばかりだとしても、増えすぎちゃダメなんです。気の毒ですけどそうなんです。誰一人死なないとすると、バランスが崩れて大変なことになる。

⑤必要悪という言葉がありますね。つまり

I がなければ

II もないし、影がなければ光もない。

絵を描く時にも光を描きたければ影を描けなくちゃいけない。新印象派のフランス画家、スーラはそれが非常にうまい作家です。デッサンを見るとよく分かりますが、影の部分が非常にうまいですね。だから光を描ける。

とにかく全部善良というわけにはいかなくて、必ず敵対するものがある。そのバランスが良くとれている時が健康な社会です。人間も増えすぎて困る部分があります。宇宙の中で考えれば、人間の数は少し多くなり過ぎて、限界を超こえる時がくるかもしれない。でも、だからといって戦争をやるにしても、昔のようにチャンバラやって何人か死ぬという程度でやめておかないと、

原爆を投下するようなことをしてはいけない。ああいうことをやると全滅します。完全にバランスが崩れてくずしまいます。だから、ああいうことはやっちゃいけない。

(やなせたかし『わたしが正義について語るなら』)

※1 愛嬌…にこやかでかわいらしいこと。

※2 抗体…体内にウイルスや細菌などが入り込んだとき、それにのみ反応する物質のこと。

※3 拮抗…勢力や能力がほぼ等しく、互いに優劣のないこと。

問一 空欄あうにあてはまる語句として適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 例えば イ だから ウ それから エ ところが

問二 空欄Ⅰ、Ⅱに入る語の組み合わせとして適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 善と悪 イ 光と影 ウ 罪と罰 エ 勝と敗

問三 傍線部①「アンパンマンは非常に重要です」の理由として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 二千以上のキャラクターの中で次から次へとヒーローが現れるから。

イ 常にアンパンマンはばいきんまんのことを敵とみなしているから。

ウ 正義のヒーローであるアンパンマンは読者とは程遠い存在であるから。

エ アンパンマンの存在により他のキャラクターも活躍できるから。

問四 傍線部②「ばいきんは、一目見てすぐには分からない」とあるが、ここからどのようなことが言えると筆者は述べているか。
本文中の語句を使って四十字以内で説明しなさい。

問五 傍線部③「排除はしなくちゃいけないのだけど、相手を殺してしまう必要はないということなんだよね」とあるが、その具体例として適切でないものを次から全て選び、記号で答えなさい。

ア 人間を襲うヒグマが現れたので、全滅させた。

イ 友人とけんかをしたが、次の日には仲直りをした。

ウ 文化祭で意見が分かれたが、話し合って新しいアイデアを出した。

エ 試合に負けて悔しかったが、ユニホームを交換し合った。

問六 傍線部④「対抗」と同じ意味の語句を本文中から二字で抜き出しなさい。

問七 傍線部⑤「必要悪」とあるが、なぜ悪が必要なのか。その説明として適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア ばいきんまんのような悪の存在がいないと、アンパンマンが正義の味方としての力を発揮できないから。

イ ばいきんまんのような悪の存在がいないと、善悪のバランスが崩れてしまうから。

ウ ばいきんまんのような悪の存在がいないと、悪の存在が目立つことができないから。

エ アンパンマンやばいきんまんは菌の一部であり、どちらも自然界のバランスを保つために必要だから。

四 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

ある日、お釈迦様は極楽の蓮池のふちを、独りでぶらぶらお歩きになっていらつしやいました。この極楽の蓮池の下は、ちょうど地獄の底に当たっています。お釈迦様は下の容子を御覧になりました。

するとその地獄の底に、犍陀多という男が一人、ほかの罪人と一しよに蠢いている姿が、お眼に止まりました。この犍陀多という男は、人を殺したり家に火をつけたり、いろいろ悪事を働いた大泥坊でございしますが、それでもたった一つ、善い事を致しました。そこで犍陀多は早速足を挙げて、踏み殺そうと致しましたが、「いや、いや、これも小さいながら、命のあるものに違いない。その命をむやみにとるということは、いくらなんでも可哀そうだ。」と、こう急に思い返して、とうとうその蜘蛛を殺さずに助けてやったからでございします。

お釈迦様は地獄の容子を御覧になりながら、この犍陀多には蜘蛛を助けたことがあるのをお思い出しになりました。そうしてそれだけの善い事をした※₁報いには、出来るなら、この男を地獄から救い出してやろうとお考えになりました。幸い、側を見ますと、※₂翡翠のような色をした蓮の葉の上に、極楽の蜘蛛が一匹、美しい銀色の糸をかけております。お釈迦様はその蜘蛛の糸をそつとお手にお取りになつて、玉のような白蓮の間から、はるか下にある地獄の底へ、まっすぐにそれをお下ろしなさいました。

こちらは地獄の底の血の池で、ほかの罪人と一しよに、浮いたり沈んだりしていた犍陀多でございします。何しろどちらを見ても、まっ暗で、たまにそのくら暗からぼんやり浮き上がっているものがあると思ひますと、それは恐ろしい針の山の針が光るのでございしますから、その心細さといったらございしません。その上あたりは墓の中のようにしんと静まり返つて、たまに聞こえるものといつては、ただ罪人がつく微かな嘆息ばかりでございします。これはここへ落ちて来るほどの人間は、もうさまざまな地獄の※₃責苦に疲れはてて、泣き声を出す力さえなくなっているでございしましょう。ですからさすが大泥坊の犍陀多も、やはり血の池の血に※₄咽びながら、まるで死にかかった蛙のように、ただもがいてばかりおりました。

ところがある時のことでございます。何気なく犍陀多が頭を挙げて、血の池の空を眺めますと、そのひっそりとした暗の中を、遠い遠い天上から、銀色の蜘蛛の糸が、まるで人目にかかるのを恐れるように、一すじ細く光りながら、するすると自分の上へ垂れて参るのではございませんか。犍陀多はこれを見ると、①思わず手を拍って喜びました。この糸に縋りついて、どこまでものぼって行けば、きっと地獄からぬけ出せるに^{※5}相違ございません。いや、うまく行くと、極楽へはいることさえも出来ましょう。

そうすれば、もう針の山へ追い上げられることもなくなれば、血の池に沈められることもあるはずはございません。

こう思いましたから犍陀多は、早速その蜘蛛の糸を両手でしっかりとつかみながら、一生懸命に上へ上へとたぐりのぼり始めました。^{※6}もとより大泥坊のことでございますから、こういうことには昔から、慣れ切っているのでございます。

しかし地獄と極楽との間は、何万里となくございますから、いくら焦って見たところで、容易に上へは出られません。ややしばらくのぼるうちに、とうとう犍陀多もくたびれて、もう一たぐりも上の方へはのぼれなくなってしまうました。そこで仕方がございませんから、まず一休み休むつもりで、糸の中途にぶら下りながら、はるかに目の下を見下ろしました。

すると、一生懸命にのぼった甲斐があつて、さっきまで自分がいた血の池は、今ではもう暗の底にいつの間にかかくれております。それからあのぼんやり光っている恐ろしい針の山も、足の下になつてしまいました。この分でのぼって行けば、地獄からぬけ出すのも、^{※7}存外わけがないかもしれません。犍陀多は両手を蜘蛛の糸にからみながら、ここへ来てから何年にも出したことのない声で、②「しめた。しめた。」と笑いました。ところがふと気がつきますと、蜘蛛の糸の下の方には、数限もない罪人たちが、自分ののぼった後をつけて、まるで蟻の行列のように、やはり上へ上へ一心によじのぼって来るではございませんか。犍陀多はこれを見ると、驚いたのと恐ろしいので、しばらくはただ、莫迦のように大きな口を開いたまま、眼ばかり動かしておりました。自分一人でさえ断れそうな、この細い蜘蛛の糸が、どうしてあれだけの人数の重みに堪えることが出来ましょう。もし万一途中で断れたと致しましたら、せっかくここへまでのぼって来たこの^{※8}肝腎な自分までも、元の地獄へ逆落しに落ちてしまわなければなりません。そんなことがあつたら、大変でございます。が、そういううちにも、罪人たちは何百となく何千となく、まっ暗な血の池の底から、うようよと這い上がって、細く光っている蜘蛛の糸を、③一列になりながら、せっせとのぼって参ります。今のうちにどうかしなければ、糸はまん中から二つに断れて、落ちてしまうのに違いありません。

そこで犍陀多は大きな声を出して、「こら、罪人ども。この蜘蛛の糸は己おれのものだぞ。お前たちは一体だれに尋きいて、のぼって来た。下りろ。下りろ。」と喚わめきました。

その途端とたんでございます。今までなんともなかった蜘蛛の糸が、急に犍陀多のぶら下っている所から、ぷつりと音を立てて断れました。ですから、犍陀多もたまりません。あつという間もなく風を切つて、独楽こまのようにくるくるまわりながら、見る見るうちに暗やみの底へ、まっさかさまに落ちてしまいました。

後あとにはただ極楽の蜘蛛の糸が、きらきらと細く光りながら、月も星もない空の中途に、短く垂たれているばかりでございます。

お釈迦様は極楽の蓮池はすいけのふちに立つて、この一部始終いちぶしじゆうをじつと見ていらつしやいましたが、やがて犍陀多が血の池の底へ石のように沈んでしましますと、悲しそうな顔をなさりながら、またぶらぶらお歩きになり始めました。自分ばかり地獄からぬけ出そうとする、犍陀多の④無慈悲むじひな心が、そうしてその心相当そうとうな罰ばつをうけて、元の地獄へ落ちてしまったのが、お釈迦様のお目から見ると、あさましく思おもひ召めされたのでございましょう。

しかし極楽の蓮池の蓮は、少しもそんなことには※頓着とんじやく致しません。その玉のような白い花は、お釈迦様の御足ごみあしのまわりに、ゆらゆら※¹⁰萼うつなを動かして、そのまん中にある金色の※¹¹蕊ずいからは、何とも言えないよい匂においが、絶え間なくあたりへ溢あふれております。極楽ももう午ひるに近くなつたのでございましょう。

(芥川龍之介『蜘蛛の糸』)

※1 報い…ある行いの結果として身にはね返ってくる事から。

※2 翡翠…深緑色から乳白色、さらにはむらさき色や青、黒などはば広い色合いを持つ宝石。

※3 責苦…責めさいなまれる苦しみ。

※4 咽び(ぶ) …こみ上げる感情で息がつまる。また、息をつまらせながら泣くようす。

※5 相違さひ…さいません…間違いない。その通りである。

※6 もとより…初めから。以前から。もともと。

※7 存外…物事の程度^{ていど}などが予想と異なること。また、そのさま。

※8 肝腎…最も重要なこと。欠かせないこと。

※9 頓着…深く気にかけてこたわること。

※10 萼…お釈迦様の座る蓮の花の形をした台。

※11 蕊…花のおしべ、めしべのこと。

問一 なぜお釈迦様は犍陀多を助けようと思ったのか。その理由を本文中の語句を使って二十字以内で説明しなさい。

問二 傍線部①「思わず」の意味として最も近いものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 何も考えず イ しっかりと考えて ウ 人にすすめられて エ 不思議に感じて

問三 傍線部②「しめた。しめた。」とあるが、この時の犍陀多の気持ちとして適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 犍陀多は自分にやっと順番が回ってきたので喜んだ。

イ 犍陀多は自分の前の糸にだれも気付かずおどろいた。

ウ 犍陀多は地獄から抜け出せるか不安で悩んでいた。

エ 犍陀多は地獄から抜け出せる希望を感じて喜んだ。

問四 傍線部③「一列になりながら、せつせとのぼって参ります」という描写は、何に例えられているか。本文中から四字で抜き出しなさい。

問五 傍線部④「無慈悲な心」とは、具体的にここではどのような心と言っているのか。十五字以内で答えなさい。

問六 この作品の表現技法の説明として適切でないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 多くの擬声語や比喩が使われている。

イ 語り手は犍陀多の視点で語っている。

ウ 非現実的な世界で人間の心理を描いている。

エ 読者に語りかけるような文体で書かれている。

問七 次のA・Bどちらかを選び、百三十字以上、百五十字以内で自分の考えを書きなさい。

A…あなたがもし犍陀多だとしたら、下からよじのぼってくる人に何と声をかけますか。また、そう考えた理由も書きなさい。

B…あなたがもしお釈迦様だとしたら、犍陀多に蜘蛛の糸を下ろしますか？下ろしませんか？また、そう考えた理由も書きなさい。

解答用紙

⑥	①
⑦	②
⑧	③
⑨	④
⑩	⑤

④	①
意味	意味
⑤	②
意味	意味
	③
	意味

[illegible][illegible]

解答用紙

⑥	①
つい	展示
⑦	②
はつが	姿勢
⑧	③
そっせん	回復
⑨	④
そそ	減少
⑩	⑤
わざわ	機械

④	いくどうおん	意味
①	ごんごどうだん	意味
⑤	しくはつく	意味
②	いちごいちえ	意味
③	ばじとうふう	意味
	ウ	

問五	問四		問二	問一
ア・エ	ら	悪	イ	あ
	ず	い		イ
	、	も	問三	い
	見	の	エ	エ
問六	破	は		う
敵	る	い	6	ア
対	こ	か		6
問七	と	に		
問五は完答	は	も		
	難	悪		
	し	い		
	い	感		
	と	じ		
	い	で		
	う	現		
	こ	れ		
	と	る		
	。	と		
		は		
		限		

問六	問五	問二	問一
イ	自分	ア	一度
	だ	問三	蜘蛛
	け	エ	蛛
	が	問四	の
	助	蟻	命
	か	の	を
	り	行	助
	た	列	け
	い	※蜘蛛はひらがな、カタカナでも可	る
	心		善
	。		い
			行
			い
	を		
		した	
		から	
		。	

自分勝手、自己中心など、利己的な内容であれば正解

選んだ内容の記号を丸で囲みなさい。 A ・ B		問七 【採点基準】（減点する） （A）（B）どちらかの質問を選択し、それぞれの条件に合った解答がされているか。（⑤） 解答用紙の使い方に間違いはないか。（②） 誤字脱字はないか。（各①） 改行が適宜なされているか（改行のし過ぎで文字数不足②）。 指定字数の範囲内に収まっているか。（⑤） 話し言葉（①） 終わっていない（③） ・主語述語がねじれている（③）		150	140	100	20
---	--	--	--	------------	------------	------------	-----------

受験番号	
氏 名	